

リベリア
ニンバ山脈地帯森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2017年5月
コンサベーション・インターナショナル

保全契約1：家畜飼育

Gbopayee と Yolowee で建設が進められていた豚舎が完成し、コミュニティに引き渡されました！二つのコミュニティで豚飼育がよいよ始まります。ここで育てられた豚は、これから、村の重要なタンパク質源となり、収入源となります。
プロジェクトでは、各コミュニティで豚飼育の専門家を雇っています。今期、Gbopayee 村内で選ばれた 21 人の農家が、専門家による豚舎の管理についてのトレーニングを受けました。豚舎で今後産まれる子豚は、まずこれらの 21 の農家が受け取り、彼らの農地で育てられることとなります。豚飼育の専門家の指導を受けて選び、購入した 3 組の子豚たちは、現在豚舎で飼育されています。子豚たちは餌をしっかりもらい、すくすく成長しています。



Gbopayee の豚舎と子豚

Yolowee の豚舎は、今期完成しました。Yolowee コミュニティでも、豚飼育の専門家の指導により、3 組の子豚を購入し、完成した豚舎で飼育し始めました。専門家が Yolowee 村内で選ばれた 14 人の農家を対象に、豚舎管理についてのトレーニングを行いました。Gbopayee 同様、豚舎で産まれる子豚は、彼らが最初に受け取るようになります。



Yelowee の豚舎

両コミュニティで、豚飼育は大変な関心を集めています。例えば、Yelowee の村長は、プロジェクトに対する感謝とともに、Yelowee 村のすべての世帯が豚小屋をもつ日を楽しみにしている、豚は、非常に重要なタンパク質源として、村の人々の生活を支えてくれる、と伝えてくれました。

保全契約 2：フロントライン保護官

前期にトレーニングを受けた両コミュニティのメンバーからなる 24 人のフロントライン保護官が東ニンバ保護区とその周辺の森林地帯のパトロールを 18 回行いました。18 回のうち 12 回は、東ニンバ保護区を管轄する森林局のレンジャーと一緒に実施しました。残りの 6 回は、フロントライン保護官のみで、コミュニティの周辺の森林をパトロールしました。パトロールは、保護対象の野生動物の狩猟や東ニンバ保護区内での農業といった違法行為が減るという成果となって表れています。パトロールのデータは、プロジェクトで準備した保管場所に保管され、いつでも見ることができる状態です。今後、定期的にはパトロールの報告書を関係者間で共有する計画です。

地元 NGO の能力強化

今期、3つの地元 NGO の9人のスタッフを対象として、保全契約の計画と予算づくり、保全契約の実施のモニタリング、保全契約の実施に関する活動報告書及び財務報告書の作成、不正についてのトレーニングを行いました。

3つの地元 NGO は、「技能及び農業開発サービス（Skills and Agricultural Development Services : SADS）」、「コミュニティの権利拡大のための農村統合センター（Rural Integrated Center for Community Empowerment : RICCE）」、そして「リベリア環境保全協会（Society for the Conservation of Nature in Liberia (SCNL)）」です。それぞれの NGO から、プロジェクト管理担当、会計担当、そして調達担当が参加しました。トレーニングでは、これまでにこれらの NGO で使われてきた様式やひな形の見直しも行いました。保全契約に関する報告の質が大きく改善されると期待されます。

来期の計画

今期、トレーニングを行った、Gbopayee 及び Yolowee の21人及び14人の農家のトレーニングと豚飼育活動を継続します。また、フロントライン保護官によるパトロールも継続します。

森林局と協力して、保護対象種の見分け方と保護方法、そしてフロントライン保護官の活動についての普及啓発を目的として会合を2つの村で実施する予定です。

3つの NGO を対象に、保全契約に関するトレーニングを実施します。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。